

げん え き だ い が く せ い

インターンの つながる通信

～神原議員のもとでたくさんのお会いがありました～



中学校の修学旅行について調べました。



豊中市と沖縄市は
兄弟都市なのに、
修学旅行で沖縄に
行かないのはなぜ？
吹田市は行っている！！

NOTE

- ・豊中市の現在の行き先
長野県 16 校、他 2 校
- ・修学旅行にかかる費用
長野県へ：約 37,000 円/人
沖縄県へ：約 60,000 円/人

問題なのは費用…!?

* 修学旅行に対する就学援助の金額を 学校規模が同等の吹田市と比較すると…

		総額	援助人数	一人当たり
豊中市	小学校	約 1650 万円	844 人	約 19,600 円
	中学校	約 2640 万円	740 人	約 35,700 円
吹田市	小学校	約 1700 万円	848 人	約 20,000 円
	中学校	約 4580 万円	817 人	約 56,000 円

小学校では両市に
ほとんど差はないが、
中学校では
2万円以上の差が！



* 就学援助の上限額を 国の予算単価や北摂他市と比較すると…

	豊中市	国の予算単価	吹田市	高槻市	箕面市	池田市	茨木市	摂津市
小学校	20,000円	20,600円	実費	20,600円	実費	実費	実費	実費
中学校	36,000円	55,700円	実費	55,700円	実費	実費	実費	実費

「実費」は上限なしを意味し、
豊中市がダントツに低い！

まとめ

- 就学援助の上限額が引き上げられると、修学旅行費用が増加し、
- (1) 行き先の選択肢が広がる
→ より有意義な学習のできる修学旅行が可能に
 - (2) 豊中市の現状を活かすことができる
→ 大阪国際空港の活用、
沖縄市と兄弟都市であることのアピールができる

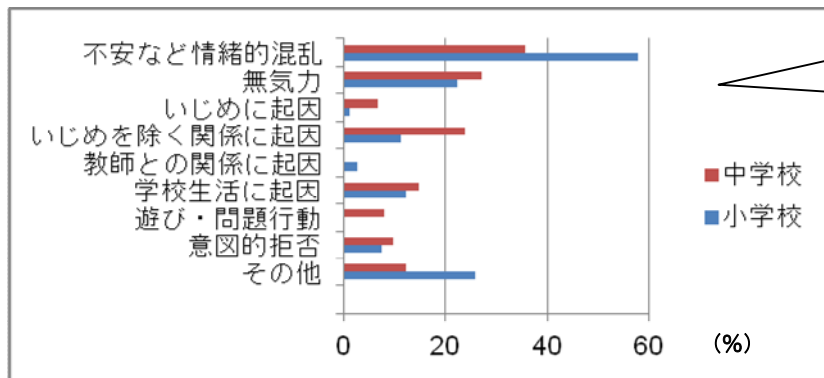


豊中市庁舎前にて



不登校・ひきこもりについて調べました。

* 不登校の理由の内訳 (データ出所: 豊中市立小中学校長期欠席児童生徒に関する調査報告書平成 22 年度)



理由にはさまざまなものがあり、本人の気持ちに起因する場合は個人に合った対応が必要。

豊中市の対策と現状はどうなっているだろう？

* 区内少年文化館を訪れました



◆創造活動◆

クッキング、茶華道、美術、音楽、軽スポーツ、学習支援
→こころのエネルギーを高める

◆学生カウンセラー派遣◆

自宅から出られない子どもの家庭を訪問

◆寄り添い型学習・生活支援事業◆

福祉事務所と連携、
高校中退者など中3～高3相当年齢の支援も実施

学校復帰へ

とても
アットホームで
居心地のいい
場所でした。

まとめ

- ・ひとりひとりに向き合った対応で
小学校では **92%**、中学校では **78%** の児童生徒が
少年文化館から学校に復帰！(平成 22 年度)
- ・学校外の公営の不登校支援施設は全国でもめずらしく、
行政との連携体制が整備されているのは先進的です。

「インターンを終えて」

大阪大学経済学部 1 年生 工藤美樹

成長したい、知らない世界を見たい、という思いで参加を決めたインターン。今回、神原議員の受け入れ学生が私ひとりということで、くじけそうになることもありましたが、私がこうしてインターン活動を最後までやり通すことができたのは、神原議員を始め、たくさん方の支えがあったからでした。この 2 か月間に出会ったすべての方に感謝の気持ちでいっぱいです。

市民のことを第一に考え、休みなく働く神原議員のもとで活動をするうちに、政治に無関心だった私も、選挙の際には投票に行こうと思うようになりました。政治が情報を与えてくれるのではなく、私が目を向けようとしていなかったことに気がついたからです。これは、他のことについても言えることだと思います。待っているだけでは、きっと何も変わりません。

インターン活動は、新しい発見にあふれていました。克服したい課題も見つかりました。ここで得たものを今後の生活に活かしたいと思います。